

オリエントナノ便り

お客様各位

拝啓 錦秋の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月の「オリエントナノ便り」を読み返すと大規模台風が日本を直撃し、伊豆大島ではたくさんの方が犠牲になられ、「大自然の驚異とは言え、このところ日本に起こる災害は悲惨さを増しているように感じてなりません。」と綴っていました。

そして今年の10月には御嶽山の噴火で沢山の方の命が奪われました。

こんなに自然災害が頻発するのは、何かの警鐘のように感じてなりません。

先日ドイツの小さな村「シェーナウ」の人々がチェルノブイリ原発事故後に自然エネルギーによる電力供給会社を立ち上げ、今や原発を上回る電力をドイツ全土に送るまでになったというドキュメンタリー映画を見ました。

日本では54基もの原子力発電所があり、そこから出る放射性廃棄物を処分するのに10万～100万年かかると言われています。一体どうやって後世の人に私たちが残した負の遺産の危険性を伝えて行けるのでしょうか？

そして近年頻発している大地震や火山噴火がいつ原発施設を襲い、放射能の拡大範囲への拡大を制御できなくなるかと思うと恐ろしくなります。

だいぶ前に京都大学の小出裕章著「騙されたあなたにも責任がある」（脱原発の真実）と言う本を読み、原発の恐ろしさを学びましたが、今回のドキュメンタリー映画は私達大人が諦めずに行動することで社会を変えて行けるという希望を感じるものでした。このドキュメンタリー映画を機に「原発をやめる100の理由」と言う本が出版され、各項目がドイツ編と日本編に分かれて語られています。

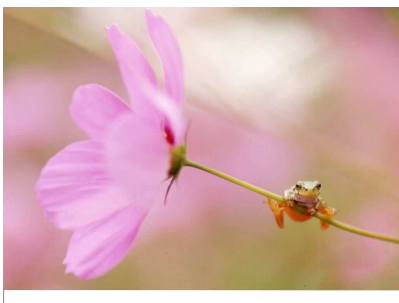
凄くわかりやすく良い本なのでおすすめです。

仕事のお話に戻りますが、これから年末にかけて各食品工場様で増産の時期に入ります。私たちの活躍のチャンスだと思いますので、油の問題でお困りの現場がございましたら、いつでも出動させて戴きたいと考えております。

何卒宜しくお願い申し上げます。

平成26年10月31日

敬具



代表取締役 花輪麻美